

## 電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2019年6月10日

No 378

発行者：ELIC編集委員会谷口利男  
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8  
電話(03)6421-5323 染野ビル2F  
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

# ELIC

1部100円

# 電機リストラ交流集会！

## 10団体・26職場から58人参加

6月1日(土) 南部労政会館「会議室」で開催した「電機リストラ反撃交流集会」は、サブタイトルを「激変するリストラの解明と反撃」とし、8職場から報告書を作成して頂き、出席は10団体、12企業・26職場から58人が出席しました。

## 連帯あいさつを3人から頂く



東京地評白滝副議長は、電機産業提言冊子を評価し人減らしリストラと果敢に闘い、アンケートを門頭配布し、個別春闘を取り組み組合員を拡大している。

はたの衆議院議員は、日立が無期転換ルールを逸脱した事に対して予算委員会分科会で政府を追求し、一般論としながらも日立の違法性を認めた。



千葉日立市議は、4月統一選挙で政治を変える為に工場労働者に訴え多くの支援を頂いて初当選した。今後、職場を変える取り組みをしていく。

## 企業分析と闘いの報告

報告は、日立懇田中代表・NEC懇九野代表・沖電気OAK真喜志代表・ルネサス懇林代表代行・東芝の会の鈴木事務局長・富士通は来栖さん・パイオニアは小倉さん・パナソニックは西野さん・三菱電機は藤崎さんから文書報告でした。報告の共通点は、大株主が投資ファンドとなっており利益を上げる為に集中リストラを繰り返し、現職の労働者がユニオンに加入して闘いに立ち上がっている事であった。

## 情勢分析する三つの観点

まとめを兼ねた閉会あいさつは米田委員長が行い、自分の職場を「企業分析」「労組の姿勢」「職場実態」を分析し、闘いに立ち上がろうと呼びかけた。

## 今月号の紙面

- ①電機リストラ反撃交流集会
- ②電機大手の3月期決算の特徴
- ③全労連・地評争議支援総行動
- ④パイオニアリストラへの反撃行動  
日立茨城で学習会を開催
- ⑤東京電機懇「第30回総会」開催
- ⑥ラプラス「やんば」今井さん
- ⑦電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧電機懇「全国世話人会」の案内  
からむすの原稿を。集積回路

## 基調講演と基調報告

基調講演は「電機産業は再度輝きを取り戻せるか」と題して藤田実桜美林大学教授に60分間して頂き、2000年代の経営戦略と産業政策の迷走について解明され、復活に向けて新しい対抗的労働運動の構築への期待と対米従属の問題点が表明された。

基調報告は「電機リストラとの闘い、資本の攻撃の特徴と闘いの成果」と題して米田徳治委員長が30分間行い、人減らしリストラは止まらず19年3月期決算を分析した結果50万人台となっている事が判明しユニオンと一緒に連帯して闘おうと呼びかけた。